

IPS 5046

8

(7)

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

EVIDENTIARY DOCUMENT NO. 5046 IS ONE OF THOSE
ASSIGNED A NUMBER FROM THE BLOCK OF NUMBERS GIVEN
TO Abd Monane WHO OBTAINED THIS DOCUMENT
FROM: Legal Sec.

THE ORIGINAL DOCUMENT TO THE BEST OF OUR KNOWLEDGE IS:
returned to source.

M. Richard
FILES UNIT
Document Division

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

REQUEST FORM

1946

INCIDENT - ACCUSED

JUDGE ALBERT WILLIAMS

The undersigned requests the consideration of Document # 5046
(describe):

**Excerpts from record of evidence of Pvt. Colin Fleming Brien -
Singapore
(Original of record also herewith)**

for introduction in evidence (specify purpose) **As to treatment
of POW - Class B offense**

R. S. Davis

Staff Attorney

7 MAY 1946 2 May 1946

TO THE DOCUMENT OFFICER:

The above document has been approved for processing by you
with changes as follows:

**Stencil-
70 copies available**

Albert Williams

Judge Albert Williams
Document Control Attorney

By *Eef*
Secretary

①
5046

Munenao YAMASAKI
宗直 山崎

7 May, 1946.

~~COLIN FLEMING BRIEN~~
コリン フレミング ブリエン

Evidentiary Document
#5046

姓 in stand

私の省略したい部隊、番號、階級及姓名は

~~歩兵大隊~~ ^{2/19 歩兵大隊} ~~大隊~~ ^{二等兵} NX. 49427. 兵卒、(コリン

フレミング ブリエンです。私の住所はシドニー
市、ドルモイン、トランミイヤ町、四番地です。

私は昭和十七年 ^{千九百四十二年} (1942) 二月九日 クランジ地区の
戦に従事しておりましたが、其日私は負傷し、

~~捕虜~~
私の本隊との接觸を失いました。私は
日本人の俘虜となつた二月二十六日まで、

自由の身体でした。

昭和十七年 (1942) 三月一日朝の八時頃
^{千九百四十二年}

②

日本人は私に^随つゝ来いと云いました。日本人は

私を密~~生~~林に至る道に沿つて連れ行き~~ました~~

~~ました~~と約十五人か二十人位の士官と同一数位

の^{下士官兵卒}~~士官の護衛隊~~の一行の空地に行きました。

私だけが停虜でした。空地には其時新

規に掘つた武~~器~~^{器(の墓)}と思つたものかあつたか、
~~遺物~~分

間もなく其れは墓であるかと~~察~~りました。

剣が土中に刺してありました。

日本の士官が私に^{お前はあ前の神様の處へ}~~私を(天国に)~~行くのだと云ひ
ました。

彼はそれから私を探り、私を後手に

縛り、私を座はさせ、墓の中に足を投げ出させ

~~あ~~

ました。それが私の目の周りをやさしくなで

結び、私の肩の上には私のシャツを引寄せ、私の

頭を前の方に曲げました。

私は二秒ばかり待ってみましたが、それが首の

後に突き刺さる気持を感じました。私はまだ生

きていることを覚ったので、右側に倒れ、

死んだ風をしました。その後、私は意識を

失いました。

私が意識を回復した時、私は墓の

中にいました。そして墓の上は木の柩と土塊

でかぶせてあり、その上に掘出した土を投げかけ

④

~~壕~~ ✓

ありました。木の根の~~壕~~の終の四手方位は掘出し
た土塊の底から上まで充ててありましたけ

れど。私は一時間待ってから、日本人が行って

しまったと思ったので、私は底の所にある土塊

を足指^{とて}で~~掘~~掘り出す~~壕~~、金棒の大塊

が~~壕~~の^{斬土壕}中に落ちたから、私は~~壕~~の終と木の杭

の初めとの間の場所から這り上ることができました。

こんなことをしてゐる間に、私は二三夜気絶

しました。その夜私は私の縛られてゐた手を

解きました。

私は三日ばかり木の根の途辺を徘徊したが、

⑤

三月四月私はそんな所に^{何時迄も}~~無限~~に居られたのと

考へ、~~シシ~~がホタル市内の^{直中}(~~至~~之の中心)で逢つた

地区にヨロヨロと歩いて行き、警察署に自首

しました。